

# 社会科学習指導案

授業者 須藤 渉  
展開学級 2年 F組  
展開場所 2年F組教室

- 1 単元名 第4章 近世の日本  
第3節 産業の発達と幕府政治の動き

## 2 単元について

江戸幕府が成立してから1世紀近くたち、政治の諸制度を整え、学問を奨励するなど、5代将軍の頃、文治政治が行われた。生類憐みの令や貨幣の質の悪化などの政治の弊害があったが、新井白石のもとではそれらを正しながら、いっそうの文治政治が進められていた。こうした中で政治も社会も安定していたのが元禄時代前後である。しかし、安定した中でも幕府政治のひずみが多く噴出しはじめていた。支配者階級の武士の威厳がなくなり、町人が台頭、中でもその財力で政治にまで影響力をもった商人も現れた。一方、農村では貧富の差が広がってきていた。そして何よりも問題なのは幕府が財政難で身動きが取れなくなってきたことにある。この問題を解決しようと18世紀から19世紀初めにかけて様々な改革が実施されてきた。

徳川吉宗から田沼意次の政治を経て、松平定信の寛政の改革と幕府が武士の気風の引き締めや財政の立て直しに努めた。武芸の奨励や儉約令で武士の生活を引き締め、年貢の強化や新田開発などの農業対策にも力を注いだことはどの改革にも共通している。発達してきた都市生活や商業に積極的な施策を取り始めたのもこのころからである。反面相次ぐ改革の中で天災や飢饉がしばしば起こり、幕府支配への不平や不満が次第につのり、民衆に新たな動きが生じてきた。また時期を同じくし、日本をとりまく対外情勢に大きな変化が生じる。欧米諸国のアジア進出がそれである。日本も国内外からの大きな課題が山積し、幕藩体制が大きく揺らいでくるのである。天保の改革はこの危機を乗り越えるために実施されたが失敗に終わり、いよいよ幕末へと迫っていく。幕府の改革失敗の最大の要因は社会の変化や人々の生活の変化を考慮せず初期のような幕府の権限の回復、支配体制の復刻を図ろうとする幕府中心の政治改革にあったように思われる。一方諸藩では、現状を把握し、人々の生活の安定のために何をすべきかを考え、改革を成功させた藩が登場する。それらの藩を中心として後の明治維新へとつながり、時代を変える大きな動きとなる。この単元では、政治改革とそれに伴う社会の大きな変化をとらえていき、空前の支配体制を誇った幕藩体制が揺らぎ、滅亡へむかっていく様子を、時代の大きな流れから多面的にとらえていくことを想定している。

さらに、次年度から全面実施をむかえる、学習指導要領の社会科改訂にあたっての基本的な方針が、(1)基礎的・基本的な知識、概念や技能の習得、(2)言語活動の充実、(3)社会参画、伝統や文化、宗教に関する学習の充実の3点として集約されている。本単元では、このうち「(2)言語活動の充実」に重点を置き、幕府の改革において、問題点を創出し、吟味し、課題を追究していく過程、そして、その成果を報告し合う場を設定することで、その趣旨を具体的なものとして表出していきたいと考えている。

## 3 生徒の実態 (省略)

#### 4 単元の目標

- (1) 身近な地域の歴史的事象など具体的な事例を取り上げ、農業をはじめとする諸産業の発達の様子や諸産業が発達した理由や影響を理解することができる。
- (2) 幕府による代表的な政治改革を取り上げておもな内容を理解し、改革が必要になった理由を考えることができる。
- (3) はなやかな町人文化や地方の生活文化に関心を持ち、このような文化が広がった背景を理解することができる。
- (4) 江戸時代における学問の発達を理解し、その中に新しい時代を切り拓く動きが見られることに気づくことができる。
- (5) 揺らぐ幕藩体制の原因とやがてくる新しい時代への展望を大局的に捉え、自身の思考力、判断力をもとに、改革案をつくることができる。

#### 5 指導計画（9時間扱い）

- (1) 農業や諸産業の発達・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間
- (2) 都市の繁栄と元禄文化・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2時間
- (3) 享保の改革と社会の変化・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2時間
- (4) 幕府政治の改革・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間
- (5) 新しい学問と化政文化・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間
- (6) 外国船の出現と天保の改革・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間
- (7) 自分が将軍だったら、どのような改革をするか・・・・・・・・・・ 1時間（本時）

#### 6 本時の指導（9／9）

- (1) 目標
  - ・本単元の学習内容をふまえ、江戸幕府を立て直すために、どのような政治や改革が望ましいかを考え、判断し、積極的に表現することによって、時代の変化を多角的・多面的に考察することができる。

(2) 本時の展開

過程	時配	学習内容と活動	教師の支援・留意点	評価・資料等
導入	10分	江戸時代後期の三大改革（享保・寛政・天保）と田沼意次の政治についての、重要政策の確認をする。	・幕政改革の基礎基本を確認させる。	・今までの既習事項を正しく理解する。 [知識・理解]
展開	35分	この4つの幕府改革が成功したのか失敗したのか、各改革ごとに、発表させ、4つの改革の結果を確認する。	・幕府の改革の中で、財政の立て直しに焦点化する。 ・4つの改革とも失敗に終わったということは、幕府の権力が衰えてきたことを確認する。	・既習事項の良い点、悪い点を理解して発表できる。 [知識・理解]  ・友達の意見を聞くことができる。 [関心・意欲・態度]  ・江戸幕府を立て直すための新しい提案を考えることができる。 [思考・判断・表現]
		<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p><b>私が江戸幕府を救う！！</b> (自分が将軍だったら、どういう改革をするか)</p> </div> <p>江戸幕府を立て直すための提案を考える。 個人で取り組む</p> <p>2, 3人の生徒の提案をみんなの前で発表させる。 ・老中に政治を行わせない。 ・農民をもっと助ける。 (農民に楽しみを与える) ・わいろをもらわずに商人の力を利用する ・開国をしてしまう。 (貿易による利益を得る)</p> <p>再び個人で、もう一度提案を考える。</p> <p>*幕府は、幕府のための改革を、庶民にやらせようとしたために、失敗に終わったこと、藩の中には庶民のことを考え、改革に成功している藩もあることを着目させる。</p>	・机間巡視をし、興味深い提案をしている生徒を見つけ、指導する。	
まとめ	5分	本時の発表についてわかったことや感想などを記入する。  次時の内容を確認する。		・プリントにしっかり記入できる。

(3) 評価

自由民権運動の背景・目的・方向性の理解を深めるために、積極的な意見交換ができる。